

平成 27 年度社会福祉法人新城福社会事業報告

法人本部拠点区分

- 法人本部

レインボーはうす拠点区分

- レインボーはうす(生活介護、就労移行、就労継続 B 型)
- 居宅介護事業所レインボーはうす
- 新城市障害者相談支援事業所レインボーはうす

サポートホーム拠点区分

- サポートホームしんしろ・ほうらい・第 2 しんしろ
- 短期入所事業所矢部ホーム

西部福社会館拠点区分

- 西部福社会館(生活介護、地域活動支援センター)
- ふれあい相談センター
- 西部福社会館施設管理事業

障害者就業・生活支援センターウィル拠点区分

- 障害者就業・生活支援センターウィル(ウィル就業、ウィル生活)

平成 27 年度社会福祉法人新城福社会本部事業報告

社会福祉法人新城福社会の理念

- 「他人を思いやり、お互いを支え、助け合おう」とする互助精神を基本とします。
- 共に生きるという共生理念に立って、地域においてさまざまな形で福祉を支えあう文化の形成に貢献します。
- ハンディキャップのある人もない人も平等かつ普通に生活できる社会(ノーマライゼーション)をめざします。
- 利用者の自己決定、自己実現を尊重した自立支援、生活支援、社会参加を基本とします。
- 利用者、職員、保護者、地域の人々と協働、連携した法人の運営に努めます。

1. 理事会・評議員会

期 日	会議名	出席者	議 事
27.5.19	監事監査	理 事 2 名 監 事 2 名 事務員 1 名	・平成 26 年度事業報告書・財産目録・貸借対照表 及び収支計算書決算監査
27.5.21	評議員会	評議員 9 名 理 事 2 名 監 事 2 名 事務員 2 名	<ul style="list-style-type: none"> ・第 1 号議案平成 26 年度社会福祉法人新城福社会一般会計事業報告並びに決算認定について ・第 2 号議案平成 26 年度社会福祉法人新城福社会レインボーはうす就労支援事業会計事業報告並びに決算認定について ・第 3 号議案平成 26 年度社会福祉法人新城福社会特別会計（東三河北部障害者就業・生活支援センターウィル）事業報告並びに決算認定について ・第 4 号議案社会福祉法人新城福社会定款の変更について ・第 5 号議案社会福祉法人新城福社会理事の任期満了に伴う次期理事の選任について ・第 6 号議案社会福祉法人新城福社会監事の任期満了に伴う次期監事の選任について

27.5.21	理事会	理事 6名 監事 2名 事務員 2名 管理者 3名	<ul style="list-style-type: none"> ・第1号議案平成26年度社会福祉法人新城福社会一般会計事業報告並びに決算認定について ・第2号議案平成26年度社会福祉法人新城福社会レインボーはうす就労支援事業会計事業報告並びに決算認定について ・第3号議案平成26年度社会福祉法人新城福社会特別会計（東三河北部障害者就業・生活支援センターウィル）事業報告並びに決算認定について ・第4号議案社会福祉法人新城福社会定款の変更について ・第5号議案社会福祉法人新城福社会評議員任期満了に伴う次期評議員の選任について
27.7.11	理事会	理事 6名	<ul style="list-style-type: none"> ・第1号議案社会福祉法人新城福社会理事長の互選について ・第2号議案社会福祉法人新城福社会常務理事の指名について ・第3号議案理事長の職務代理者の指名について
27.12.3	評議員会	評議員 11名 理事 2名 監事 1名 事務員 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・第1号議案平成27年度社会福祉法人新城福社会法人本部拠点区分資金収支第1次補正予算について ・第2号議案平成27年度社会福祉法人新城福社会レインボーはうす拠点区分資金収支第1次補正予算について ・第3号議案平成27年度社会福祉法人新城福社会サポートホーム拠点区分資金収支第1次補正予算について ・第4号議案平成27年度社会福祉法人新城福社会西部福社会館拠点区分資金収支第1次補正予算について ・第5号議案平成27年度社会福祉法人新城福社会障害者就業・生活支援センターウィル拠点区分資金収支第1次補正予算について

27.12.3	理事会	理事 6名 監事 1名 事務員 2名 管理者 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・第1号議案平成27年度社会福祉法人新城福祉会法人本部拠点区分資金収支第1次補正予算について ・第2号議案平成27年度社会福祉法人新城福祉会レインボーはうす拠点区分資金収支第1次補正予算について ・第3号議案平成27年度社会福祉法人新城福祉会サポートホーム拠点区分資金収支第1次補正予算について ・第4号議案平成27年度社会福祉法人新城福祉会西部福祉会館拠点区分資金収支第1次補正予算について ・第5号議案平成27年度社会福祉法人新城福祉会障害者就業・生活支援センターウィル拠点区分資金収支第1次補正予算について
28.3.24	評議員会	評議員 10名 理事 2名 監事 1名 事務員 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・第1号議案平成27年度社会福祉法人新城福祉会法人本部拠点区分資金収支第2次(最終)補正予算について ・第2号議案平成27年度社会福祉法人新城福祉会レインボーはうす拠点区分資金収支第2次(最終)補正予算について ・第3号議案平成27年度社会福祉法人新城福祉会サポートホーム拠点区分資金収支第2次(最終)補正予算について ・第4号議案平成27年度社会福祉法人新城福祉会西部福祉会館拠点区分資金収支第2次(最終)補正予算について ・第5号議案平成27年度社会福祉法人新城福祉会障害者就業・生活支援センターウィル拠点区分資金収支第2次(最終)補正予算について ・第6号議案平成28年度社会福祉法人新城福祉会法人本部拠点区分事業計画並びに法人本部拠点区分資金収支(当初)予算について ・第7号議案平成28年度社会福祉法人新城福祉会レインボーはうす拠点区分事業計画並びにレインボーはうす拠点区分資金収支(当初)予算について ・第8号議案平成28年度社会福祉法人新城福祉会サポートホーム拠点区分事業計画及びサポート

			<p>ホーム拠点区分資金収支(当初)予算について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第9号議案平成28年度社会福祉法人新城福祉会西部福祉会館拠点区分事業計画及び西部福祉会館拠点区分資金収支(当初)予算について ・第10号議案平成28年度社会福祉法人新城福祉会障害者就業・生活支援センターウィル拠点区分事業計画及び障害者就業・生活支援センターウィル拠点区分資金収支(当初)予算について ・第11号議案平成28年度社会福祉法人新城福祉会新城市基幹相談支援センター拠点区分事業計画及び新城市基幹相談支援センター拠点区分資金収支(当初)予算について ・第12号議案社会福祉法人新城福祉会定款の変更について ・第13号議案社会福祉法人新城福祉会経理規程の変更について ・第14号議案社会福祉法人新城福祉会就業規則の変更について ・第15号議案社会福祉法人新城福祉会旅費規程の変更について
28.3.24	理事会	<p>理事 6名 監事 1名 事務員 2名 管理者 3名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第1号議案平成27年度社会福祉法人新城福祉会法人本部拠点区分資金収支第2次(最終)補正予算について ・第2号議案平成27年度社会福祉法人新城福祉会レインボーはうす拠点区分資金収支第2次(最終)補正予算について ・第3号議案平成27年度社会福祉法人新城福祉会サポートホーム拠点区分資金収支第2次(最終)補正予算について ・第4号議案平成27年度社会福祉法人新城福祉会西部福祉会館拠点区分資金収支第2次(最終)補正予算について ・第5号議案平成27年度社会福祉法人新城福祉会障害者就業・生活支援センターウィル拠点区分資金収支第2次(最終)補正予算について ・第6号議案平成28年度社会福祉法人新城福祉会法人本部拠点区分事業計画並びに法人本部拠点区分資金収支(当初)予算について ・第7号議案平成28年度社会福祉法人新城福祉会

			<p>レインボーはうす拠点区分事業計画並びにレインボーはうす拠点区分資金収支(当初)予算について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第8号議案平成28年度社会福祉法人新城福祉会サポートホーム拠点区分事業計画及びサポートホーム拠点区分資金収支(当初)予算について ・第9号議案平成28年度社会福祉法人新城福祉会西部福祉会館拠点区分事業計画及び西部福祉会館拠点区分資金収支(当初)予算について ・第10号議案平成28年度社会福祉法人新城福祉会障害者就業・生活支援センターウィル拠点区分事業計画及び障害者就業・生活支援センターウィル拠点区分資金収支(当初)予算について ・第11号議案平成28年度社会福祉法人新城福祉会新城市基幹相談支援センター拠点区分事業計画及び新城市基幹相談支援センター拠点区分資金収支(当初)予算について ・第12号議案社会福祉法人新城福祉会定款の変更について ・第13号議案社会福祉法人新城福祉会経理規程の変更について ・第14号議案社会福祉法人新城福祉会就業規則の変更について ・第15号議案社会福祉法人新城福祉会旅費規程の変更について
--	--	--	---

- 西部福祉会館指定管理事業を受託し、新たな障害者並びに高齢者福祉サービス事業等を軌道に乗のせることができた。
- 日本財団からの助成金により新たに公用車を1台(ホンダNワゴン:相談レインボーはうす)整備した。
- 新城市基幹相談支援センターの受託が決定し、それを受けて東三河北部圏域における地域生活支援拠点の面的整備に向けて法人としての取り組みを開始した。
- サポートホームほうらい矢部ホームの敷地を300万円で購入した。
- 既存事業の充実・発展、新規事業の創設、人づくりの3つの柱で社会福祉法人新城福祉会第3期中長期計画を策定した。
- 社会福祉法人新城福祉会第3期中長期計画に盛り込まれた人づくりに関して、法人研修委員会(研修委員は各事業部門より1名選出)を設置、新たな研修システムを開始した。
- 受託4年目の障害者就業・生活支援センター事業については、平成27年度も次年度継続受託条件(就職10名以上、実習20名以上)を達成することができた。

2. 法人本部事務(労務・経理)

- 月末に資金移動をし、資金の動きについて各サービス区分及び全体の把握に努めた。
- 新会計基準に移行し、引き続き会計事務所(TKC)の定期的なサポートや外部監査により、正確な処理に努めた。
- 生産活動について、必要な部分は担当者と連携し、適切な事務処理に努めた。
- 国保連合会請求事務について、事業所の追加事務を滞りなく行い、報酬改定が行われたため、それに伴う加算要件に対する理解を深め適正な処理に努めた。
- 法改正の都度、対応した規則に変更した。また、変更をEメールや文書にて職員へ周知した。
- 東三河セルフ事務員研修を活用して、他事業所との情報交換を行った(年2回)。
- 処遇改善加算を活用し、直接処遇職員の賃金改善に努めた。
- 常務理事、事務職員で毎朝打合せを行うことにより、事務内の情報共有とスムーズな事務処理に努めた。
- 西部福祉会館にも事務担当者を置き、各事業所の労務・経理事務等を集約処理できるように役割分担を決めた。

3. 社会福祉法人新城福祉会権利擁護委員会

■活動内容

- ・職員へ虐待防止法を周知した。
- ・各事業部門において虐待防止チェックリストの記入・集計を行った。
- ・法人内で発生した虐待案件について、虐待案件発生時の通報マニュアルに沿って対応
新城市虐待防止センターに報告した。
- ・権利擁護委員会運営規定の変更をした。

[変更点]

虐待案件が発生したときは、臨時権利擁護委員会を招集する。その際、早急な対応が必要なことから、少なくとも2名以上の出席で会は成立するものとする。

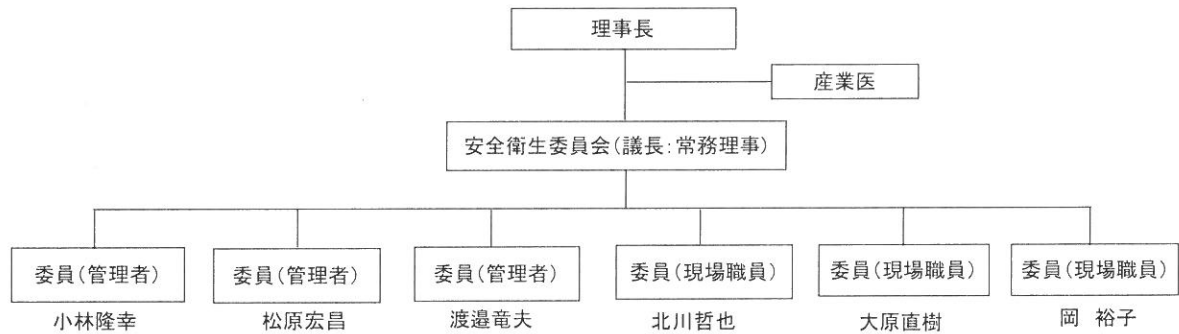
■年間の研修・会議報告

月日	会議・研修	内容
7月1日	第1回権利擁護委員会	虐待防止に関する法人職員研修について
7月18日	虐待防止に関する法人職員 全体研修	虐待防止研修 ・虐待場面の動画(下関障害者事業所) ・虐待防止法の概要説明 ・KJ法による、支援の振り返りと事例に対する対応策の検討 ・虐待防止チェックリストの配布
11月6日	第2回権利擁護委員会	・ホームで発生した虐待案件について ・虐待防止チェックリスト

4. 社会福祉法人新城福祉会安全衛生委員会

- 毎月第3木曜日に安全衛生委員会を開催し、労務上の安全衛生に関することを審議し、その議事録を産業医に提出してきた。
- 法的に実施義務となったストレスチェックについて安全衛生委員会で準備を開始した。
- 産業医、安全管理者、衛生管理者、安全衛生委員については下記、安全衛生委員会組織図参照。

平成27年度 社会福祉法人新城福祉会安全衛生委員会組織図



◇産業医:米田正弘

◇安全管理者:長坂宏

◇衛生管理者:長坂宏

*安全衛生委員会運営規程第3条構成において委員は、議長の他3名以上10名以内、また法人側、組合側(労働者側)を同数とする。

*安全衛生委員会運営規程第6条会議の開催は、毎月少なくとも1回以上開かなければならないとある為、法人運営委員会にて毎月安全衛生に関することを議題上程し、その会議を兼ねることとする。

平成27年度レインボーはうす（多機能型事業所）事業報告

1. 多機能型事業所全体として

～重点目標に対して～

- ① 新たな日中活動の場である西部福社会館の人材確保、人材育成(研修)、適正な利用者支援等、事業運営に協力・連携をすることができた。
- ② 浄化槽の送風機、お菓子やさんのカーテン等、建物・備品等の修繕を必要に応じて行った。
- ③ クラウド対応オリジナルソフト(Welfare365)を導入し、フェイスシート、アセスメントシートのデータ化を進めた。

～継続的目標に対して～

- ④ 新規事業として就労継続支援B型「なないろ作業班」を創設。またお菓子やさんは改正食品表示法を遵守、道の駅「もっくる新城」用商品、クリスマス用新商品を開発した。
- ⑤ 法人としてジョブコーチ2名(内レインボーはうす1名)体制を堅持する為に、新たにジョブコーチ1名を育成した。

2. 生活介護事業 定員24名 利用現員36名

平成27年度平均利用者数 28.6人/日 平成27年度延べ利用者数 7,632人

各月の延べ利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	673	599	729	721	534	619	683	591	567	613	626	677

- ① 生活介護事業は主たる事業所及び従たる事業所2箇所において日中活動を展開。
○主たる事業所…レインボーはうす(利用現員22名)
○従たる事業所…オレンジプラザ(利用現員7名)、グリーンファーム(利用現員7名)
- ② 工賃支払要綱を見直し、基本工賃額をベースアップした。しかし、目標工賃(平均月額)を9,000円は達成することができなかった。今後は作業開拓が大きな課題。
■平成27年度売上：3,917,268円 ■平成27年度支出：3,903,012円
契約企業：本多プラス、スギヤマ電子、ヨコタ印刷、TPO、あみや商事、トヨハシ種苗。
- ③ 強度行動障害支援者養成研修修了者を1名配置し、専門的な支援を行った。また強度行動障害のある人に対して支援の手順書を作成し、一貫した支援を行った。
- ④ 看護師を常勤で1名、嘱託医を非常勤で1名配置した。

3. 就労移行支援事業 定員6名 利用現員8名

平成27年度平均利用者数7.0人/日 平成27年度延べ利用者数1,875人

各月の延べ利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	192	167	198	213	138	185	169	157	122	95	99	140

- ① 一般就労への意欲、可能性に応じて積極的に支援する体制を築くために、企業訪問あるいは障害者就業・生活支援センター、障害者職業センター、ハローワーク等と連携して、情報交換を行った。
- ② 就労移行支援の訓練現場（昼食工房）で対応が難しいケースでは、就労継続B型、生活介護事業と連携をとることで、多機能型の強みを生かした支援を行った。
- ③ 就労移行実績は就職者7名(内6名定着、1名離職、H28.3.31現在)。

昼食工房

■平成27年度売上：9,670,848円 ■平成27年度支出：9,739,921円
 弁当の製造販売を通じ、一般就労に必要なスキルを身に付けられる環境を設定した。
 ※別紙①「平成27年度移動販売車イベント営業報告一覧表」参照

施設外就労

■平成27年度売上：1,031,700円 ■平成27年度支出：960,010円
 【企業簡易下請作業】 契約企業：鳳来精密工業株式会社
 利用対象者がいないため平成27年度で終了。

4. 就労継続支援事業B型 定員10名 利用現員14名

平成27年度平均利用者数 10.3人/日 平成27年度延べ利用者数 3,037人

各月の延べ利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	277	247	277	279	196	243	263	241	238	239	248	289

目標工賃を平均月額28,040円とし、工賃向上計画に基づき、目標工賃達成指導員と共に工賃アップに取り組み、平成27年度工賃実績は平均月額28,770円となった。

レインボーのお菓子やさん

■平成27年度売上：7,481,755円 ■平成27年度支出：7,026,408円
 クッキー、焼菓子等の製造販売を通じ、仕事をする上でのスキルを身につけられるよう環境を整えた。
 ※別紙②「平成27年度レインボーのお菓子やさんイベント営業報告一覧表」参照

施設外就労

■平成27年度売上：449,129円 [清掃業務請負作業]契約事業所：西部福社会館

施設外就労

■平成27年度売上：1,106,402円 [企業簡易下請作業]契約企業：トンボ鉛筆(株)

5. 第1号ジョブコーチ（職場適応援助者）による職場適応援助事業

- ① 第1号ジョブコーチ2名体制で、年間12名のジョブコーチ支援を目標とし、実施した。平成27年度は9件の実施。

- ② 定着率（職場適応援助の終了後、6ヶ月経過後に雇用が継続している者の率）が50%を超えるように職場適応援助を実施した。

6. 日中一時支援事業について

①生活介護事業、就労移行支援事業、就労継続B型事業で受入れを実施した。

②夏期の長期休暇では特別支援学校在学中の利用者の受入れを行った。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	52	30	38	48	49	37	41	37	31	37	46	48

7. 食事提供(給食)について

個別支援計画に基づいた給食提供をすると共に、嗜好調査を定期的に行い利用者の意見が反映された献立作成を行った。

8. 保健医療について

① 健康管理

- ・毎日、出勤時各作業班にて、健康チェックを行い、作業日誌に記載し、異常時には速やかに看護師と連携をとり、支援を行った。
- ・重度障がいのある利用者には、毎日バイタルチェックを実施し、健康把握に努めた。

② 医療

- ・年1回（9月） 健康診断（血圧、採血、レントゲン、検尿）
- ・年1回（7月） 歯科検診
- ・年1回（10月） インフルエンザ予防接種

③ 服薬

- ・薬剤情報提供書の活用について職員に周知できていなかった。
- ・薬品庫の使用状況管理、記録用紙の記載について職員に周知できていなかった。

④ 感染予防

- ・感染症対応について看護師を中心に行い、必要部署に次亜塩素酸噴霧器を設置し予防に努めた。
- ・出入口、食堂に常時消毒液を設置し感染予防に努めた。
- ・感染者が周囲に出た場合、レインボーはうす感染症対応マニュアルに従い感染拡大の予防に努めた。

9. 環境美化

① 大掃除（8月、12月）と害虫駆除（5月、6月）を実施した。

（昼食工房、お菓子やさんについては、業務委託による害虫防除を毎月実施）

② 食堂を外部の方にギャラリーとして活用していただいた。

10. 防災について

① 消防計画と地震防災規程を1本化し、抜本的な見直し、更新を行うことができた。

② 防災訓練を2ヶ月に1回実施した。※別紙③参照

- ③ 平成27年度ヒヤリハット5件、事故報告4件。事故を未然に防ぐ為にヒヤリハット等の報告は定着している。
- ④ 福祉避難所としての通信機器の整備を粘り強く新城市へ働きかけている。

11. 広報活動について

機関紙を年2回(7月、1月)に発行。ホームページでは法人の情報開示に努めた。

☆個人情報の使用承諾確認書を全利用者に配布し、肖像使用の可否を確認した上で、個人情報の使用に留意して情報開示を行った。

12. 本人活動について ※別紙③参照

- ① 余暇活動については年間計画を立て実施した。余暇の充実に向けた活動である事を踏まえ、そのお知らせがヘルパー利用申し込み等に間に合うように努めた。
- ② 日中活動の充実に向けて「余暇活動の内容」「私の好きな事」「給食について」等を話し合う「みんなの語り場」を設け、利用者主体の意見交換の場とした。

13. 職員研修について ※別紙④「平成27年度研修実施内容等」参照

- ① 職員全体研修は研修希望アンケートから組み立て実施。
- ② 課題の多いケース対して常勤職員研修で野中方式を活用して事例理解を深めた。

14. 地域交流、ボランティア、実習生の受け入れについて

※別紙⑤「平成27年度実習生、ボランティア受け入れ実施状況等」参照

- ① 各種ボランティアの受け入れを幅広く実施し、ボランティア団体とも連携した。
- ② 各種実習や職場体験、研修、見学の受け入れ等、教育機関との連携を行った。

15. 苦情解決制度について

平成27年度の苦情は6件。新人職員研修に苦情に関する講義を入れることが課題。

16. サービス評価について

平成27年度内に自己評価を実施できなかった。

17. 家族会について

- ① レインボーはうすより2名が顧問として参加。自主的組織である家族会の運営が円滑に進むように協力をした。(顧問は2名 長坂・笹野)
- ② 7月25日(土)家族会が行うレインボーはうす周辺の草刈奉仕作業に協力した。
- ③ 西部福社会館の家族会立ち上げに伴い、法人内両事業所の整合性を取る為にレインボーはうす家族会会則改正(平成27年11月)に協力した。

別紙① 平成27年度移動販売車 イベント営業 報告一覧表

月	日	曜	イベント名	会場	品目	売り上げ	食数
4	1	水	始業式	庭野小学校	弁当	¥ 12,000	12
	13	月	塩沢地区老人会	構造改善センター	弁当	¥ 49,500	45
	22	水	上美会	上平井公民館	弁当	¥ 15,000	15
5	5	火	のぼり祭り	なるこ鮨あと地	カレー	¥ 45,450	127
	10	日	山本鉄建周年祭	山本鉄建前	カレー	¥ 47,400	122
	12	火	JCオードブル	森田屋	オードブル	¥ 30,000	20
	29	金	志多ら新城講演	文化会館	おにぎり	¥ 12,000	40
6	14	日	つくしんぼうバスケ	新城小学校	弁当	¥ 40,000	80
	20	土	あみや展示会	あみや本社	弁当	¥ 31,500	63
	21	日	あみや展示会	あみや本社	弁当	¥ 30,500	61
7	11	土	法人誕生日会	レインボー食堂	弁当	¥ 60,000	25
			夏まつり	GHきらら	カレー	¥ 46,700	117
	26	日	JCオードブル	県民の森	オードブル	¥ 90,000	90
	31	金	教員研修会	文化会館	弁当	¥ 78,400	98
8	21	金	がんばれ共和国	県民の森	弁当	¥ 345,500	145
	22	土	がんばれ共和国	県民の森	弁当	¥ 385,000	162
	23	日	がんばれ共和国	県民の森	弁当	¥ 10,500	30
9	27	日	防災フェスタ	新城消防署	カレー	¥ 34,900	83
10	18	日	キラリンまつり	きらりんトープ	カレー	¥ 34,400	104
	24	土	あみや展示会	あみや本社	弁当	¥ 33,000	66
			シルバー祭り	シルバー人材センター	やきそば	¥ 9,000	30
	25	日	あみや展示会	あみや本社	弁当	¥ 31,000	62
	31	日	穂の国コンファレンス	蒲郡商工会議所	カレー	¥ 37,880	99
12	7	月	塩沢地区老人会	構造改善センター	弁当	¥ 44,000	40
2	6	土	上美会	上平井公民館	弁当	¥ 37,400	34
3	5	土	卒業生を祝う会	レインボー食堂	オードブル	¥ 52,500	30
	18	金	中村神道組合	中村衣里宅	弁当	¥ 32,500	13
	19	土	豊島区総会	豊島公民館	弁当+オードブル	¥ 35,000	30
	20	日	キラリン家族会	きらりんトープ	弁当	¥ 106,000	106
						¥ 1,805,030	

別紙② 平成27年度レインボーのお菓子やさん イベント営業 報告一覧表

日 程	イ ベ ント		職 員		利用者	売 上
			午前	午後		
4月1日(水)	さくらまつり	雨天中止				
4月2日(木)	さくらまつり		B型	生活介護		¥29,110
4月3日(金)	さくらまつり	雨天中止				
4月4日(土)	さくらまつり		河村		熊谷・藤原	¥40,660
4月5日(日)	さくらまつり	雨天中止				
4月26日(日)	軽トラ市	8時～	松井		山口	¥32,000
5月5日(火)	のぼり祭り	9時～16時	松井・河村			¥43,070
5月10日(日)	山本鉄建感謝祭	8時半～	岡本		中澤正	¥30,630
5月24日(日)	軽トラ市	8時～	松井		藤原	¥29,270
6/12～6/15	セルプバザー(蒲郡アピタ)	6/11搬入	河村・岡本			¥18,060
6月20日(土)	あみや	9時～16時	河村	岡本	熊谷・中澤正	¥37,700
6月21日(日)	あみや	9時～16時	伊藤		杉浦嘉	¥34,880
6月28日(日)	軽トラ市	8時～	松井		中澤志	¥26,240
7月11日(土)	児童館まつり	9時半～12時	河村		熊谷	¥12,210
7月11日(土)	夜店				後援会	¥46,400
7月31(金)	東三河教育研修会		河村		熊谷・中澤正	¥44,630
9月27日(日)	消防防災フェスタ	10時～15時	伊藤		杉浦嘉	¥34,830
9月27日(日)	設楽健康フェスタ		松井			¥39,800
10月3,4日(土日)	緑が丘フェスティバル		前崎			¥26,100
10月4日(日)	総合公園まつり		木所・岡本			¥17,540
10月4日(日)	桜ヶ丘高校学園祭	9時～	河村・老平		山口	¥43,400
10月18日(日)	キラリンまつり	9時～	松井			¥43,400
10月24日(土)	あみや	8時半～	長笠原・岡本			¥30,880
10月24日(土)	JAまつり	9時～	黒瀬			¥37,520
10月25日(日)	軽トラ市	8時～	水野・河村			¥28,570
10月25日(日)	あみや	8時半～	山本・岡本		杉浦嘉	¥32,170
11月6日(木)	新城高校文化祭		生活介護		長坂	¥48,450
11月8日(日)	作手まつり	9時～	松井・河村			¥28,660
11月15日(日)	秋のさくらまつり		松井			¥23,530
11月29日(日)	コープ愛知(デイサービス)		飯星・松井		佐々木	¥17,140
11月22日(日)	軽トラ市	8時～	高塚・岡本			¥58,870
11月23日(日)	もみじまつり	8時～	荒川			¥21,310
12月12日(土)	フォーラム		担当者			¥58,200
2月11日(木)	節句祭り	10時～16時	伊藤		右田	¥28,000
2月12日(金)	節句祭り	10時～15時	千賀		夏目・川合・岡田	¥13,280
2月13日(土)	節句祭り	10時～16時	老平			¥20,040
2月14日(日)	節句祭り	10時～15時	河村			¥11,360
3月25日(金)	さくらまつり	10時～15時半				¥3,530
3月26日(土)	さくらまつり	10時～16時				¥17,170
3月27日(日)	さくらまつり	10時～16時	松井			¥26,360
3月28日(月)	さくらまつり	10時～15時半				¥4,250
3月29日(火)	さくらまつり	10時～15時半				¥10,650
3月30日(水)	さくらまつり	10時～15時半				¥14,340
3月31日(木)	さくらまつり					¥8,200
合 計						¥1,172,410

別紙③

【平成27年度訓練実施状況等】

月 日	時 間 帯	訓 練 内 容	担 当
4月24日(レインボー)	午後1時10分～	避 難	野 澤
4月24日(お菓子やさん、オレンジ)	午後3時～		荒 川
4月24日(グリーン)	午後1時～		河 合
6月25日(レインボー)	午後1時15分～	通 報	笹 野
6月25日(お菓子やさん、オレンジ)	午後3時～		河 村
6月25日(グリーン)	午後1時～		飯 星
8月28日(レインボー)	午後1時15分～	消 火	山 本
8月28日(お菓子やさん、オレンジ)	午後3時～		荒 川
8月28日(グリーン)	午後1時～		黒 瀬
10月22日(レインボー)	午後1時30分～	大規模地震 避難訓練	水 野
10月22日(お菓子やさん、オレンジ)	午後1時30分～		岡 本
10月22日(グリーン)	午後1時30分～		飯 星
12月25日(レインボー)	午後1時30分～	消 火	山 下
12月25日(お菓子やさん、オレンジ)	午後3時～		荒 川
12月25日(グリーン)	午後1時15分～		黒 瀬
2月23日(レインボー)	午後1時15分～	通 報	伊 藤
2月23日(お菓子やさん、オレンジ)	午後3時～		河 村
2月23日(グリーン)	午後1時15分～		飯 星

【平成27年度本人活動実施内容等】

月 日	活 動 内 容	講 師 等
5月2日	よさこい・語り場	北 劔 連
6月6日	プラ板づくり	
7月18日	色あそび	
9月19日	アコースティックライブ	上 條 聖 都 氏 他
10月17日	バーベキュー大会	
11月21日	焼いも・給食会議	
1月4日	新年会	浜 名 湖 レイクサイドプラザ
1月30日	書き初め	
2月27日	ケーキづくり	
3月19日	ダンスレッスン	新 井 弘 美 氏

別紙④ 【平成27年度研修実施内容等】

月 日	内 容	研修担当・報告者	対象
4月10日(金)	工賃水準改善事業(伝達研修)	松井	常勤
5月2日(土)	強度行動障害について①(伝達研修)	荒川、小田	全職員(法人) (参加30名)
5月15日(金)	野中方式で事例理解を深める(第1G)	小林(西部福祉)	常勤
6月6日(土)	強度行動障害について②(伝達研修)	荒川、小田	全職員(法人) (参加28名)
6月12日(金)	野中方式で事例理解を深める(第2G)	北川、長坂、河合(相)	常勤
7月17日(金)	野中方式で事例理解を深める(第3G)	北川、長坂、河合(相)	常勤
7月18日(土)	権利擁護研修	権利擁護委員会	全職員(法人) (参加39名)
9月11日(金)	野中方式で事例理解を深める(OP)	北川、長坂、渡邊(相)	常勤
9月19日(土)	コミュニケーションの取り方	<u>金田文子氏</u>	全職員(法人) (参加26名)
10月9日(金)	野中方式で事例理解を深める(GF)	北川、長坂、河合(相)	常勤
10月17日(土)	触法障害者の支援について	<u>月花和紀氏</u>	全職員(法人) (参加34名)
11月13日(金)	野中方式で事例理解を深める(就B)	北川、長坂、河合(相)	常勤
11月21日(土)	精神疾患を持つ患者さんとの接し方	<u>浅尾拓朗氏</u>	全職員(法人) (参加34名)
12月12日(土)	市民福祉フォーラム 「障害者差別解消法について」等	<u>又村あおい氏、金澤翔子氏、金澤泰子氏</u>	全職員(法人) 1部(参加66名) 2部(参加71名)
1月29日(金)	事業総括	長坂、北川、後藤、岡本	常勤
1月30日(土)	事業総括	長坂、北川、後藤、岡本	全職員
2月13日(土)	東三セルフ共同研修会 事例検討法「PCAGIP」を学ぶ	<u>成田有子氏</u>	常勤
2月26日(金)	事業計画	長坂、北川、後藤、岡本	常勤
2月27日(土)	事業計画	長坂、北川、後藤、岡本	全職員
3月11日(金)	ピカジップで事例理解を深める(就B)	北川、長坂、岡本	常勤

※下線は外部講師

別紙⑤ 【平成27年度 実習生、ボランティア受け入れ実施状況等】

【実習生受入状況】

月日	所属	実習内容
5月20日～5月22日	東郷中学校	職場体験実習
6月8日～6月12日	豊川特別支援学校	産業現場等体験実習
10月5日～10月9日	豊川特別支援学校	産業現場等体験実習
10月13日～10月16日	豊川特別支援学校	産業現場等体験実習
6月30日～7月11日	豊川特別支援学校(本宮校舎)	産業現場等体験実習
10月15日～11月18日	東京福祉大学	ソーシャルワーク実習
7月27日～7月30日	宝陵高校	介護実習
11月10日～11月13日	宝陵高校	介護実習
8月3日～8月5日	新城中学校	職場体験実習

【ボランティア受入状況】※敬称略

月	延べ人数	参加者
4月	6名	竹下容子、阿部民生、はぐるまの会2名
5月	3名	民生委員3名
6月	7名	竹永篤志、阿部民生、民生委員2名、はぐるまの会2名
7月	9名	阿部民生、山内孝、はぐるまの会2名、民生委員4名
8月	9名	山内孝、民生委員4名、はぐるまの会2名
9月	11名	竹下容子、島久恵、民生委員4名、はぐるまの会2名
10月	9名	竹下容子、はぐるまの会2名、民生委員5名
11月	7名	竹下容子、民生委員4名、はぐるまの会1名
12月	8名	阿部民生、竹下容子、井出輝美、民生委員2名、はぐるまの会2名
1月	13名	島久恵、竹下容子、はぐるまの会4名、民生委員4名、田原市社会福祉協議会3名
2月	9名	竹下容子、阿部民生、はぐるまの会2名、民生委員4名
3月	5名	竹下容子、阿部民生、島久恵、はぐるまの会2名

平成27年度居宅介護事業所レインボーはうす事業報告

1. 事業案内

新城市、豊橋市、豊川市、東栄町、設楽町、豊田市に在住の身体、知的、精神に障害のある方を主たる対象に居宅介護、行動援護、移動支援、及び私的契約（安否確認）を行った。

2. 職員 ※従業者7名全員が介護福祉士

管理者1名（兼務：レインボーはうす）

サービス提供責任者1名

常勤ヘルパー5名（サービス提供責任者含む）

登録ヘルパー2名

障害種別	
知的（者）	61人
知的（児）	26人
身体	14人
精神	14人
合計	116人

3. 契約者数

平成27年度利用者数 116名

4. 営業日及び営業時間

①12月31日から1月3日、ヘルパー研修日、及び管理者が必要と判断した臨時休業日を除き、月曜日から日曜日までの午前7時から午後10時までを営業時間とし、サービス提供を行った。

なお、12月31日から1月3日の休業日で、事業所で支援が必要と判断されたケースについては支援を行った。

5. 移動支援事業

①豊橋市、豊川市、新城市、東栄町、設楽町、豊田市からの指定を受けて、社会生活上不可欠な外出、及び余暇活動などの社会参加のための外出支援を行った。

②新城市の移動支援事業については新城市第2期障害福祉計画に挙げられたグループ支援の活用についても利用者に働きかけ、サービス提供の効率を図った。

6. 居宅介護事業

①ヘルパーが利用者宅に訪問し、入浴介助、調理、通院等介助を行った。

②痰吸引等の医療的ケアが必要な利用者には新城市訪問看護ステーションの指導を受けたヘルパーが、支援中、痰吸引の必要性があった場合のみ吸引を行えるようにしている。（平成27年度は実績なし）

③通院介助については必要に応じて、医師からの説明を受け、家族、関係機関と連携を図り、利用者の状態を共有できるように努めた。

7. 行動援護事業

- ①自閉症、てんかん発作がある方などの重度の知的障害、統合失調症などの精神障害があり、常時見守り、危機回避が必要な方に外出等の支援を行った。
- ②行動援護従事者研修に参加し、行動援護ができるヘルパーの確保を行うようにしている。また、ヘルパーのスキルアップに努めた。
- ③「行動援護従事者研修、ほのくに行動援護勉強会」に参加し、行動援護の支援ができるヘルパーの育成と確保に努めた。

8. 同行援護事業

- ①平成30年4月1日から、同行援護従事者の資格要件として、「同行援護従事者養成研修（一般過程）」の終了が義務付けられている。そのため、「同行援護従事者養成研修養成講座」を受講し同行援護の支援ができるヘルパーの育成と確保に努めていくことが早急な課題となった。

9. 福祉有償運送事業

- ①ヘルパー支援において外出支援、通院介助の移動手段のひとつとして、愛知運輸支局に登録された公用車にて、福祉有償運送事業を行った。
- ②車両についてはセダン型車両4台、車椅子車両2台、回転シート車1台の計7台の車両で事業を行った。
- ③登録車両が5台以上であるため、安全運転管理者を配置している。
- ④愛知運輸支局に登録された公用車で、1km61円で事業を行った。
- ⑤公共交通機関が乏しい地域ということもあり、移動困難に対し事業を行った。

10. 私的契約事業

平成27年度は実績なし

11. 災害時の体制整備

- ①平成23年度に作成した東海地震などの大規模災害が発生した際の避難場所の更新（利用者の在宅時及び外出支援時）と対応マニュアルの確認が課題となった。

12. 苦情について

- ①利用者の方が我慢してサービスを受けることがないように契約時、苦情受付の説明を行った。
- ②苦情を受付けた場合、速やかに管理者に苦情内容を報告し、苦情報告書を作成し、適切な対応を行った。※苦情件数0件。

13. ヘルパーの確保

- ①平日の早朝や夕方以降の支援希望が増加し、常勤ヘルパーの残業時間が増加した。該当時間に対応できるヘルパーの確保が課題となった。

14. ヘルパー事業所連絡会議

- ①毎月1回、市内のヘルパー事業所、相談支援事業所が集まり連絡会議を行った。会議の内容としては事業所間で共通の利用者への支援内容の確認、支援を行ううえで困り感などを話し合い、支援の質の向上を図った。

15. ヘルパー会議・ヘルパー研修

- ①ヘルパー会議を毎月第4木曜日に行い、支援時の注意すべき点、改善すべき点等を話し合い、ヘルパーの支援意識統一を図った。また、ヘルパー会議で出された課題などについて、必要に応じてヘルパー事業所連絡会議に繋げることができた。
- ②ヘルパーのスキルアップのために、外部研修にも積極的に参加した。

16. サービス評価について

- ①自主点検表に基づき事業運営、サービスの実施等に関する評価を行った。

17. 平成27年度移動支援実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
移動支援	241	316	249	292.5	274	263	310	248	240.5	209	265.5	251	3,159.5

18. 平成27年度居宅介護事業支援実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
家事援助	49	47	38.25	41	40.75	39.5	31.25	32.5	27.5	29.25	36.75	30.75	443.5
身体介護	64	64	59.5	67	60.5	54	60.5	58	53	63	63	72	738.5
通院介助	52	59.5	53	48	46.5	45	48	55	47.5	42.5	37	59.5	593.5
合計	165	170.5	150.75	156	147.75	138.5	139.75	145.5	128	134.75	136.75	162.25	1,775.5

19. 平成27年度行動援護事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
行動援護	35	33.5	36	34.5	33.5	24.5	26	15.5	31.5	21.5	25.5	26	343

20. 平成27年度延べ利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
移動支援	46	53	50	54	51	52	56	50	49	47	48	46	602
居宅介護	35	37	35	34	34	33	39	39	40	44	34	42	446
行動援護	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	5	5	59
合計	86	95	90	93	90	90	94	94	94	95	87	93	1,107

平成27年度 居宅介護従業者 研修実施報告

氏名	実施時期	研修期間	テーマ・講師	内容
長尾 彩花	5月	5月2日	強度行動障害について①[内部研修/職員全体(荒川、小田)]	強度行動障害従事者研修を基に強度行動障害者の理解を深めた。
	6月	6月6日	強度行動障害について②[内部研修/職員全体(荒川、小田)]	強度行動障害従事者研修を基に強度行動障害者の理解を深めた。
	7月	7月18日	権利擁護研修(内部研修/権利擁護委員会)	権利擁護について理解を深めた。
	9月	9月5日	居宅事例検討会(居宅事業所)	居宅利用者の事例検討を基に支援方法の理解を深めた。
	9月	9月19日	コミュニケーションの取り方[内部研修/職員全体(金田)]	コミュニケーションの取り方を習得。
	9月	9月24日	マイナハンバー制度学習会[内部研修/職員全体(水谷)]	マイナハンバー制度について理解を深めた。
	10月	10月17日	触法の障害のある人たちの支援の実践[内部研修/職員全体(月花)]	触法の障害のある人たちの障害の理解を深めた。
	11月	11月21日	精神疾患の利用者への支援、関わり方[内部研修/職員全体(浅尾のり)]	精神疾患のある人たちの支援、関わり方の理解を深めた。
	11月	11月22日	居宅事例検討会(居宅事業所)	居宅利用者の事例検討を基に支援方法の理解を深めた。
	12月	12月12日	市民福祉フォーラム「共に生きる」職員全体(又村、金沢)	「障害者差別解消法」とは何かを学んだ。
	1月	1月9日	ケアマネージメント[内部研修/職員全体(上原)]	野中式を活用した事例理解を深めた。
	2月	2月28日	居宅自己検討会(居宅事業所)	ヘルパー個々の強み、弱みを把握して支援に生かした。
	3月	3月4日	当事者研究ライブ(高松、高山)	トーク&ライブを通して当事者研究に触れた。
	5月	5月2日	強度行動障害について①[内部研修/職員全体(荒川、小田)]	強度行動障害従事者研修を基に強度行動障害者の理解を深めた。
	6月	6月6日	強度行動障害について②[内部研修/職員全体(荒川、小田)]	強度行動障害従事者研修を基に強度行動障害者の理解を深めた。
	9月	9月5日	居宅事例検討会(居宅事業所)	居宅利用者の事例検討を基に支援方法の理解を深めた。
	9月	9月24日	マイナハンバー制度学習会(内部研修/職員全体(水谷))	マイナハンバー制度について理解を深めた。
	10月	10月16日	ほのくに行動援護勉強会(外部研修)	レインボーはうす利用者の事例検討を基に行動援護支援の理解を深めた。
10月	10月17日	触法の障害のある人たちの支援の実践[内部研修/職員全体(月花)]	触法の障害のある人たちの障害の理解を深めた。	
11月	11月21日	精神疾患の利用者への支援、関わり方[内部研修/職員全体(浅尾のり)]	精神疾患のある人たちの支援、関わり方の理解を深めた。	
11月	11月22日	居宅事例検討会(居宅事業所)	居宅利用者の事例検討を基に支援方法の理解を深めた。	
1月	12月12日	市民福祉フォーラム「共に生きる」職員全体(又村、金沢)	「障害者差別解消法」とは何かを学んだ。	
2月	1月9日	ケアマネージメント[内部研修/職員全体(上原)]	野中式を活用した事例理解を深めた。	
2月	2月28日	居宅自己検討会(居宅事業所)	ヘルパー個々の強み、弱みを把握して支援に生かした。	
5月	5月2日	強度行動障害について①[内部研修/職員全体(荒川、小田)]	強度行動障害従事者研修を基に強度行動障害者の理解を深めた。	
6月	6月6日	強度行動障害について②[内部研修/職員全体(荒川、小田)]	強度行動障害従事者研修を基に強度行動障害者の理解を深めた。	
9月	9月5日	居宅事例検討会(居宅事業所)	居宅利用者の事例検討を基に支援方法の理解を深めた。	
9月	9月19日	コミュニケーションの取り方[内部研修/職員全体(金田)]	コミュニケーションの取り方を習得。	
9月	9月24日	マイナハンバー制度学習会[内部研修/職員全体(水谷)]	マイナハンバー制度について理解を深めた。	
10月	10月17日	触法の障害のある人たちの支援の実践[内部研修/職員全体(月花)]	触法の障害のある人たちの障害の理解を深めた。	
11月	11月21日	精神疾患の利用者への支援、関わり方[内部研修/職員全体(浅尾のり)]	精神疾患のある人たちの支援、関わり方の理解を深めた。	
11月	11月22日	居宅事例検討会(居宅事業所)	居宅利用者の事例検討を基に支援方法の理解を深めた。	
12月	12月12日	市民福祉フォーラム「共に生きる」職員全体(又村、金沢)	「障害者差別解消法」とは何かを学んだ。	
1月	1月15日	ほのくに行動援護勉強会(外部研修)	事例検討を基に行動援護支援の理解を深めた。	
2月	2月28日	居宅自己検討会(居宅事業所)	ヘルパー個々の強み、弱みを把握して支援に生かした。	
3月	3月4日	当事者研究ライブ(高松、高山)	トーク&ライブを通して当事者研究に触れた。	
藤原 有大	5月	5月2日	強度行動障害について①[内部研修/職員全体(荒川、小田)]	強度行動障害従事者研修を基に強度行動障害者の理解を深めた。
	6月	6月6日	強度行動障害について②[内部研修/職員全体(荒川、小田)]	強度行動障害従事者研修を基に強度行動障害者の理解を深めた。
	9月	9月5日	居宅事例検討会(居宅事業所)	居宅利用者の事例検討を基に支援方法の理解を深めた。
	9月	9月19日	コミュニケーションの取り方[内部研修/職員全体(金田)]	コミュニケーションの取り方を習得。
	9月	9月24日	マイナハンバー制度学習会[内部研修/職員全体(水谷)]	マイナハンバー制度について理解を深めた。
	10月	10月17日	触法の障害のある人たちの支援の実践[内部研修/職員全体(月花)]	触法の障害のある人たちの障害の理解を深めた。
	11月	11月21日	精神疾患の利用者への支援、関わり方[内部研修/職員全体(浅尾のり)]	精神疾患のある人たちの支援、関わり方の理解を深めた。
	11月	11月22日	居宅事例検討会(居宅事業所)	居宅利用者の事例検討を基に支援方法の理解を深めた。
	12月	12月12日	市民福祉フォーラム「共に生きる」職員全体(又村、金沢)	「障害者差別解消法」とは何かを学んだ。
	1月	1月15日	ほのくに行動援護勉強会(外部研修)	事例検討を基に行動援護支援の理解を深めた。
	2月	2月28日	居宅自己検討会(居宅事業所)	ヘルパー個々の強み、弱みを把握して支援に生かした。
	3月	3月4日	当事者研究ライブ(高松、高山)	トーク&ライブを通して当事者研究に触れた。

小澤 優世	5月	5月2日	強度行動障害について①[内部研修/職員全体(荒川、小田)]	強度行動障害従事者研修を基に強度行動障害者の理解を深めた。
	6月	6月6日	強度行動障害について②[内部研修/職員全体(荒川、小田)]	強度行動障害従事者研修を基に強度行動障害者の理解を深めた。
	6月	6/14、28、7/12	行動援護従事者養成研修(外部)	行動援護の特性、支援方法を習得
	9月	9月5日	居宅事例検討会(居宅事業所)	居宅利用者の事例検討を基に支援方法の理解を深めた。
	9月	9月19日	コミュニケーションの取り方(内部研修/職員全体(金田))	コミュニケーションの取り方を習得
	10月	9月25日	マイナバンパー制度学習会[内部研修/職員全体(水谷)]	マイナバンパー制度について理解を深めた。
	10月	10月16日	ほのくに行動援護勉強会(外部研修)	レインボーはうす利用者の事例を基に行動援護支援の理解を深めた。
	11月	10月17日	触法の障害のある人たちの支援の実践(内部研修/職員全体(月花))	触法の障害のある人たちの障害の理解を深めた。
	12月	11月21日	精神疾患の利用者への支援、関わり方(内部研修/職員全体(浅尾))	精神疾患のある人たちの支援、関わり方の理解を深めた。
	12月	11月22日	居宅事例検討会(居宅事業所)	居宅利用者の事例検討を基に支援方法の理解を深めた。
	12月	12月12日	市民福祉フォーラム「共に生きる」職員全体(又村、金沢)	「障害者差別解消法」とは何かを学んだ。
	菅谷 珠巳	2月	2月28日	居宅自己検討会(居宅事業所)
9月		9月5日	居宅事例検討会(居宅事業所)	居宅利用者の事例検討を基に支援方法の理解を深めた。
9月		9月25日	マイナバンパー制度学習会[内部研修/職員全体(水谷)]	マイナバンパー制度について理解を深めた。
田代 美穂	9月	9月19日	コミュニケーションの取り方(内部研修/職員全体(金田))	コミュニケーションの取り方を習得
	10月	2015/10/17	触法の障害のある人たちの支援の実践(内部研修/職員全体(月花))	触法の障害のある人たちの障害の理解を深めた。
	12月	2015/11/21	精神疾患の利用者への支援、関わり方(内部研修/職員全体(浅尾))	精神疾患のある人たちの支援、関わり方の理解を深めた。
	12月	2015/12/12	市民福祉フォーラム「共に生きる」職員全体(又村、金沢)	「障害者差別解消法」とは何かを学んだ。
金田 美穂	12月	12月4日	レインボーはうすのヘルパーとして活動するにあたって(長尾)	レインボーはうすのヘルパーマニュアルの理解
	12月	12月12日	市民福祉フォーラム「共に生きる」職員全体(又村、金沢)	「障害者差別解消法」とは何かを学んだ。
北沢 裕亮	12月	12月13日	福祉有償運送運転者講習(さわやか愛知)	安全、安心運転による福祉有償運送について車椅子移乗、歩行障がいのある方の介助。
	12月	12月6日	レインボーはうすのヘルパーとして活動するにあたって(長尾)	レインボーはうすのヘルパーマニュアルの理解
	12月	12月12日	市民福祉フォーラム「共に生きる」職員全体(又村、金沢)	「障害者差別解消法」とは何かを学んだ。
	12月	12月13日	福祉有償運送運転者講習(さわやか愛知)	安全、安心運転による福祉有償運送について車椅子移乗、歩行障がいのある方の介助。
片桐 麻里	2月	2月28日	居宅自己検討会(居宅事業所)	ヘルパー個々の強み弱みを把握して支援に生かす。
	3月	3月2日	居宅事業所オリエンテーション(長尾)	レインボーはうすのヘルパーマニュアルの理解
戸口 百々代	3月	3月13日	福祉有償運送運転者講習(さわやか愛知)	安全、安心運転による福祉有償運送について車椅子移乗、歩行障がいのある方の介助。
	—	—	—	—

平成27年度 レインボーはうす障害者相談支援事業 事業報告

1. 事業所

事業所名：新城市障害者相談支援事業所レインボーはうす

職員配置：管理者1名【相談支援専門員】常勤，兼務：ウィル
相談支援専門員3名 常勤（内1名管理者兼務）

事業委託費：7,400,000円（新城市より委託事業）

支援事業収入：11,734,556円（サービス等利用計画作成費等/児含）

トバ付-事業収入：1,800,000円（愛知県障害者相談支援体制整備事業）

虐待防止家庭訪問：222,000円（新城市障害者虐待防止対策支援事業等）

認定調査事業：172,800円

2. 事業全体として

地域生活支援事業の必須事業として相談支援事業を下記7項目について展開した。

① 福祉サービスの相談や申請援助

本人が希望する生活あるいは生活のしづらさを伺うことで、福祉サービスの利用に結びつくよう、福祉情報の提供、最適となるサービスの紹介、申請援助を行った。

② 社会資源を活用するための支援

充実した自立生活を実現のため、公的な福祉サービスだけではなく家族ボランティア等の人的資源、また社会生活を送る上で関わる様々な資源活用に努めた。

③ 社会生活力を高めるための支援

身だしなみ、健康管理、趣味、余暇活動などの社会生活力を高めることで、生き生きとした潤いのある地域生活を楽しめるよう支援を行った。

④ 権利の擁護のために必要な支援

地域の中で障害者が不当に差別されたり権利の侵害がなされないよう支援を行った。

⑤ 専門機関の紹介

障害福祉サービスの分野だけでなくその人に適した医療機関、介護保健施設、相談機関等の紹介を行った。

⑥ 自立支援協議会への協力

地域において障害者の生活を支えるための支援システムづくりや官民協働のネットワークづくりの中心となる自立支援協議会への協力を積極的に行った。

⑦ 東三河北部圏域連絡会議への参加

相談支援事業の情報交換と連携並びに各市町村の地域生活支援事業の検証を行い、北部圏域の生活視点からも、街づくりを考えた。

3. 平成27年度重点目標に対して

平成27年度は、委託相談支援事業所として新城市地域自立支援協議会の事務局会議および定例会の運営に当たり、中核的な役割を果たした。

したがって、平成27年度新城市地域自立支援協議会の実施計画に基づいた取り組みを果たした。

また、「障害者の日常生活又は社会生活を総合的に支援するための法律」及び「児童福祉法」に基づき、丁寧な対応に心掛け基本相談支援と計画相談支援に取り組んだ。

以上の事をふまえ、下記4項目を重点目標として展開した。

① 「相談支援の充実」にむけた取り組み

相談支援業務においては、ケアマネジメント技法に基づき、サービス等利用計画作成に取り組んだ。27年度は延752名（利用計画作成114名、モニタリング638名）のサービス等利用計画およびモニタリングを実施した。また地域移行支援は利用者無く、地域定着支援延23名（実4名）の方に支援を行った。児童計画相談は延97名（計画作成24名、モニタリング73名）の方に実施した。さらに、相談支援従事者としてのスキルアップのために、法人内研修参加、相談支援初任者研修、相談支援部会（東三河北部圏域の相談支援連絡会等）の研修に参加及び、相談支援専門員協会に所属し協会主催研修へ積極的に参加した。

② 「地域移行」「地域定着」支援体制の構築

入所施設、病院、矯正施設等からの地域移行に向けて、関係機関との連携体制の構築に努めた。

特に、地域移行に欠かせない福祉サービス等の体験先機関との情報交換を密に深め、入所型訓練施設からグループホームにつなげ新城市での暮らし移行に繋げることができた。

③ 自立支援協議会への積極的参加と運営

ア：児童部会においては、官民協同でプロジェクトチームを作り、重心児童の長期休みの居場所作りとして西部福祉会館にて5日間の試行事業を行った。地域の学校に通う児童との交流も盛り込んだことで、有意義な空間になったとともに、教育委員会との連携が深まるキッカケづくりにもなった。

イ：相談支援部会においては、相談支援専門員同士のスキルアップと情報交換を目的に連携会議を第3月曜日に設け実施した。

ウ：居宅介護事業所連絡会においては、市内居宅介護事業所5か所に福祉課を交えて情報交換を深め、支援体制の連携を深めた。

エ：地域移行、地域定着に大きな役割を果たすグループホーム設置促進に向けて情報発信し、愛知県障害者相談支援体制整備事業専門アドバイザー(グループホーム)とも連携を図った。

オ：新城市及び北部圏域に照らし、基幹相談支援センターが果たす役割について検討を行い、新城市福祉計画に28年度基幹相談支援センター設置の決定と期待される役割について整理することができた。

④ 業務効率化と業務評価への取組

相談支援専門員全員のパソコンに導入されたソフトを活用し、計画及びモニタリングデータの整理や充実に心掛けた。

平成27年度サポートホームしんしろ (指定共同生活援助事業) 事業報告

1. 事業の目的

サポートホームしんしろでの地域生活を希望する利用者が、共同して日常生活を営むことが出来るよう、その利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、共同生活住居において食事の提供、相談、その他の日常生活上の援助、または食事や入浴の介助を行うことを目的とし、事業を実施した。

2. 業務内容

①食事提供

栄養バランスに配慮し、調理を含めた利用者支援を実施した。毎朝、夕の食事提供及び、必要に応じて弁当も用意した。

②健康管理

毎朝、夕の健康チェック（検温等）を実施し、健康管理に留意した。

③金銭管理

利用者負担金（食材料費、水道光熱費、日用品費など）の管理・支払い及び、必要に応じてお小遣いの管理を支援した。また、成年後見人や日常生活自立支援事業担当者とのスムーズな連携に努めた。

④日中活動支援

福祉サービス事業所及び、就労先企業との連携により支援した。

⑤余暇活動支援

利用者の希望を尊重し、地域催事への参加、趣味活動の実施、その他外出等を支援した。

3. 利用料金

①共同生活住居・平井ホーム（定員4名）

項目	金額	備考
部屋代	21,000円	A室～F室同額
食材料費	20,000円	
水道光熱費	10,000円	
日用品費	5,000円	

②共同生活住居・石田ホーム（定員6名）

項目	金額	備考
部屋代	20,000円	A室～F室同額
食材料費	15,000円	
水道光熱費	10,000円	
日用品費	5,000円	

③共同生活住居・市場台ホーム（定員4名）

項 目	金 額		備 考
部 屋 代	A室 33,000円	C室 33,000円	
	B室 37,000円	D室 37,000円	
食材料費	20,000円		
水道光熱費	10,000円		
日用品費	5,000円		

④共同生活住居・第2城北ホーム（定員2名）

項 目	金 額	備 考
部 屋 代	25,000円	A・B室同額
食材料費	25,000円	
水道光熱費	15,000円	
日用品費	5,000円	

⑤共同生活住居・サテライト平井（定員1名）

項 目	金 額	備 考
部 屋 代	35,000円	
食材料費	20,000円	
水道光熱費	10,000円	
日用品費	5,000円	

⑥共同生活住居・第2石田ホーム（定員2名）

項 目	金 額	備 考
部 屋 代	30,000円	A・B室同額
食材料費	20,000円	
水道光熱費	10,000円	
日用品費	5,000円	

4. 個別支援計画

アセスメントを行い、その利用者の状況や希望に応じた支援計画を作成した。
定期的（6ヶ月ごと）にモニタリングを実施し、利用者のニーズの変化に対応した。

5. 虐待防止の取り組み

権利擁護委員会と連携をし、虐待防止チェックリストの活用や、虐待防止に関する研修等を実施し、事業所内での虐待防止に努めた。

6. 苦情解決について

日常的に利用者からの相談を受け付け、苦情等が発生した場合には世話人（登録世話人を含む）、苦情解決担当職員と連携をとり迅速に対応した。

※27年度 苦情件数 0件

7. 世話人会、スタッフ会・ホーム会について

ホームの運営状況、利用者支援について、ホーム内の改善事項等について話し合う場を設けた。世話人の資質向上の為、レインボーはうすの職員研修等に参加できる機会を設けた。

- サービス責任者会議…毎月第2火曜日
- 世話人会…毎月第4火曜日
- ホームスタッフ会…毎月第4金曜日
- 各ホームスタッフ会…必要に応じて開催

【研修内容】

4月		10月	虐待防止研修
5月	強度行動障害とは	11月	
6月	強度行動障害とは part 2	12月	市民福祉フォーラム
7月	権利擁護研修	1月	中長期計画について
8月	事例理解	2月	事業総括会議
9月	マイナンバー制度について	3月	事業計画会議

8. 緊急時・非常災害時の対策

①緊急時の対策

利用者の容態に急変があった場合は、協力医療機関にて必要な処置を講じ、速やかに家庭へ連絡した。

協力医療機関	新城市民病院
所在地	新城市字北畑3番地1
電話番号	0536-22-2171(代)
診療科目	内科・神経内科・呼吸器科・消化器科・循環器科・整形外科・外科・呼吸器外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・眼科・歯科・歯科口腔外科・耳鼻咽喉科

②非常災害時の対策

火災、大規模地震などの災害に備え、2か月に1回、各ホームにて防災訓練を実施した。

※各地区の指定避難場所までへの避難経路を示した地図を作成した。

③夜間緊急時の対策

サポートホームしんしろ管理者、世話人、レインボーはうす職員と連絡を取り合い対応した。

9. その他

①他事業部門と連携を取り合い、円滑な支援が出来るように努めた。

②法人所有の新ホーム建設に向けた動きに着手した。

※地域生活支援拠点の面的整備と併せ、この地域に必要な居住支援について検討を

開始した。

- ③ 8月より第2石田ホーム（定員2名）を開所した。
- ④ 4月に家族会を開催し、ホームの運営、利用者支援についての理解と協力を求めるとともに、利用者・家族の意見や要望を把握する機会とした。
- ⑤ ホーム設置地区の区長、民生委員との情報共有を図った。
- ⑥ 各ホームスタッフ会等を開催し、効率的な世話人配置等を模索した。
- ⑦ 365日、利用者が望む生活に応じた支援体制の構築に努めた。

平成27年度サポートホームほうらい (指定共同生活援助事業) 事業報告

1. 事業の目的

サポートホームほうらいでの地域生活を希望する利用者が、共同して日常生活を営むことが出来るよう、その利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、共同生活住居において食事の提供、相談、その他の日常生活上の援助、または食事や入浴の介助を行うことを目的とし、事業を実施した。

2. 業務内容

①食事提供

栄養バランスに配慮し、調理を含めた利用者支援を実施した。毎朝、夕の食事提供及び、必要に応じて弁当も用意した。

②健康管理

毎朝、夕の健康チェック（検温等）を実施し、健康管理に留意した。

③金銭管理

利用者負担金（食材料費、水道光熱費、日用品費など）の管理・支払い及び、必要に応じてお小遣いの管理を支援した。また、成年後見人や日常生活自立支援事業担当者とのスムーズな連携に努めた。

④日中活動支援

福祉サービス事業所及び、就労先企業との連携により支援した。

⑤余暇活動支援

利用者の希望を尊重し、地域催事への参加、趣味活動の実施、その他外出等を支援した。

3. 利用料金

①共同生活住居・長篠ホーム（定員4名）

項目	金額	備考
部屋代	15,000円	A室～D室同額
食材料費	20,000円	
水道光熱費	10,000円	
日用品費	5,000円	

②共同生活住居・矢部ホーム（定員4名）

項目	金額	備考
部屋代	30,000円	A室～E室同額
食材料費	20,000円	
水道光熱費	10,000円	
日用品費	5,000円	

4. 個別支援計画

アセスメントを行い、その利用者の状況や希望に応じた支援計画を作成した。
定期的（6ヶ月ごと）にモニタリングを実施し、利用者のニーズの変化に対応した。

5. 虐待防止の取り組み

権利擁護委員会と連携をし、虐待防止チェックリストの活用や、虐待防止に関する研修等を実施し、事業所内での虐待防止に努めた。

6. 苦情解決について

日常的に利用者からの相談を受け付け、苦情等が発生した場合には世話人（登録世話人を含む）、苦情解決担当職員と連携をとり迅速に対応した。

※27年度 苦情件数 0件

7. 世話人会、スタッフ会・ホーム会について

ホームの運営状況、利用者支援について、ホーム内の改善事項等について話し合う場を設けた。世話人の資質向上の為、レインボーはうすの職員研修等に参加できる機会を設けた。

- サービス責任者会議…毎月第2火曜日
- 世話人会…毎月第4火曜日
- ホームスタッフ会…毎月第4金曜日
- 各ホームスタッフ会…必要に応じて開催

【研修内容】

4月		10月	虐待防止研修
5月	強度行動障害とは	11月	
6月	強度行動障害とは part 2	12月	市民福祉フォーラム
7月	権利擁護研修	1月	中長期計画について
8月	事例理解	2月	事業総括会議
9月	マイナンバー制度について	3月	事業計画会議

8. 緊急時・非常災害時の対策

①緊急時の対策

利用者の容態に急変があった場合は、協力医療機関にて必要な処置を講じ、速やかに家庭へ連絡した。

協力医療機関	新城市民病院
所在地	新城市字北畑32番地1
電話番号	0536-22-2171(代)
診療科目	内科・神経内科・呼吸器科・消化器科・循環器科・整形

	外科・外科・呼吸器外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・眼科・歯科・歯科口腔外科・耳鼻咽喉科
--	---

②非常災害時の対策

火災、大規模地震などの災害に備え、2か月に1回、各ホームにて防災訓練を実施した。

※各地区の指定避難場所までへの避難経路を示した地図を作成した。

③夜間緊急時の対策

サポートホームほうらい管理者、世話人、レインボーはうす職員と連絡を取り合い対応した。

9. その他

①他事業部門と連携を取り合い、円滑な支援が出来るように努めた。

②法人所有の新ホーム建設に向けた動きに着手した。

※地域生活支援拠点の面的整備と併せ、この地域に必要な居住支援について検討を開始した。

③4月に家族会を開催し、ホームの運営、利用者支援についての理解と協力を求めるとともに、利用者・家族の意見や要望を把握する機会とした。

④ホーム設置地区の区長、民生委員との情報共有を図った。

⑤各ホームスタッフ会等を開催し、効率的な世話人配置等を模索した。

⑥365日、利用者が望む生活に応じた支援体制の構築に努めた。

平成27年度サポートホーム第2しんしろ (指定共同生活援助事業) 事業報告

1. 事業の目的

サポートホーム第2しんしろでの地域生活を希望する利用者が、共同して日常生活を営むことが出来るよう、その利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、共同生活住居において食事の提供、相談、その他の日常生活上の援助、または食事や入浴の介助を行うことを目的とし、事業を実施した。

2. 業務内容

①食事提供

栄養バランスに配慮し、調理を含めた利用者支援を実施した。毎朝、夕の食事提供及び、必要に応じて弁当も用意した。

②健康管理

毎朝、夕の健康チェック（検温等）を実施し、健康管理に留意した。

③金銭管理

利用者負担金（食材料費、水道光熱費、日用品費など）の管理・支払い及び、必要に応じてお小遣いの管理を支援した。また、成年後見人や日常生活自立支援事業担当者とのスムーズな連携に努めた。

④日中活動支援

福祉サービス事業所及び、就労先企業との連携により支援した。

⑤余暇活動支援

利用者の希望を尊重し、地域催事への参加、趣味活動の実施、その他外出等を支援した。

3. 利用料金

①共同生活住居・万福ホーム（定員7名）

項目	金額	備考
部屋代	20,000円	A室～E室
	12,500円	F室～G室
食材料費	20,000円	
水道光熱費	10,000円	
日用品費	5,000円	

②共同生活住居・八幡ホーム（定員4名）

項目	金額		備考
部屋代	A室 23,150円	C室 23,150円	
	B室 21,650円	D室 21,650円	

食材料費	20,000円	
水道光熱費	10,000円	
日用品費	5,000円	

4. 個別支援計画

アセスメントを行い、その利用者の状況や希望に応じた支援計画を作成した。
定期的（6ヶ月ごと）にモニタリングを実施し、利用者のニーズの変化に対応した。

5. 虐待防止の取り組み

権利擁護委員会と連携をし、虐待防止チェックリストの活用や、虐待防止に関する研修等を実施し、事業所内での虐待防止に努めた。

6. 苦情解決について

日常的に利用者からの相談を受け付け、苦情等が発生した場合には世話人（登録世話人を含む）、苦情解決担当職員と連携をとり迅速に対応した。

※27年度 苦情件数 1件

7. 世話人会、スタッフ会・ホーム会について

ホームの運営状況、利用者支援について、ホーム内の改善事項等について話し合う場を設けた。世話人の資質向上の為、レインボーはうすの職員研修等に参加できる機会を設けた。

- サービス責任者会議…毎月第2火曜日
- 世話人会…毎月第4火曜日
- ホームスタッフ会…毎月第4金曜日
- 各ホームスタッフ会…必要に応じて開催

【研修内容】

4月		10月	虐待防止研修
5月	強度行動障害とは	11月	
6月	強度行動障害とは part 2	12月	市民福祉フォーラム
7月	権利擁護研修	1月	中長期計画について
8月	事例理解	2月	事業総括会議
9月	マイナンバー制度について	3月	事業計画会議

8. 緊急時・非常災害時の対策

①緊急時の対策

利用者の容態に急変があった場合は、協力医療機関にて必要な処置を講じ、速やかに家庭へ連絡した。

協力医療機関	新城市民病院
所在地	新城市字北畑3番地1
電話番号	0536-22-2171(代)
診療科目	内科・神経内科・呼吸器科・消化器科・循環器科・整形 外科・外科・呼吸器外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器 科・眼科・歯科・歯科口腔外科・耳鼻咽喉科

②非常災害時の対策

火災、大規模地震などの災害に備え、2か月に1回、各ホームにて防災訓練を実施した。

※各地区の指定避難場所までへの避難経路を示した地図を作成した。

③夜間緊急時の対策

サポートホーム第2しんしろ管理者、世話人、レインボーはうす職員と連絡を取り合い対応した。

9. その他

①他事業部門と連携を取り合い、円滑な支援が出来るように努めた。

②法人所有の新ホーム建設に向けた動きに着手した。

※地域生活支援拠点の面的整備と併せ、この地域に必要な居住支援について検討を開始した。

③4月に家族会を開催し、ホームの運営、利用者支援についての理解と協力を求めるとともに、利用者・家族の意見や要望を把握する機会とした。

④ホーム設置地区の区長、民生委員との情報共有を図った。

⑤各ホームスタッフ会等を開催し、効率的な世話人配置等を模索した。

⑥365日、利用者が望む生活に応じた支援体制の構築に努めた。

【サポートホームしんしろ・ほうらい・第2しんしろ利用実績】(延べ人数)

①サポートホームしんしろ ※各ホーム()内は定員

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平井ホーム(4)	120	121	120	124	116	120	124	120	122	121	116	124	1448
石田ホーム(6)	147	139	155	161	130	152	150	140	137	141	153	150	1755
市場台ホーム(4)	118	117	117	121	118	116	123	117	119	118	116	122	1422
第2城北ホーム(2)	60	62	60	62	62	60	62	30	62	62	58	62	732
サテライト平井(1)	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
第2石田ホーム(2)					61	60	62	60	62	61	58	62	486
合計(19)	475	470	482	499	518	538	552	527	533	534	530	551	6209

②サポートホームほうらい ※各ホーム()内は定員

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
長篠ホーム(4)	64	85	109	113	105	93	107	100	90	95	91	84	1136
矢部ホーム(4)	120	124	120	124	124	120	124	120	124	124	116	124	1464
合計(8)	184	209	229	237	229	213	231	220	214	219	207	208	2600

③サポートホーム第2しんしろ ※各ホーム()内は定員

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
万福ホーム(7)	205	210	207	215	210	208	215	203	208	211	201	214	2507
八幡ホーム(4)	120	124	120	124	124	120	124	120	101	93	87	93	1350
合計(11)	325	334	327	339	334	328	339	323	309	304	288	307	3857

平成27年度 短期入所事業所矢部ホーム 事業報告

【全体のまとめ】

27年度3月時点での契約者数は30名となった。(前年度30名)

もともとグループホームの機能を持つ矢部ホームに併設されていることから、入居者の生活の質の確保を前提としている。そのため基本的には1泊の利用、1週間のうち最大4日間ほどの利用に留めているが、連泊の希望や月2回の利用希望もあり、利用のニーズは年を追うごとに高まっている。7月には、家族が亡くなったために自宅で生活が出来なくなった方の受入を連泊で対応した。

利用者も知的障害だけでなく、身体障害や精神障害の受け入れに関する知識や技術も求められるようになってきているため、レインボーと協力し、食事介助の研修や強度行動障害への対応等の研修を設けていった。

地域生活支援拠点の面的整備と併せ、この地域に必要な居住支援について検討を開始した。

【利用状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度	12名	16名	17名	31名	13名	12名	14名	15名	20名	12名	17名	14名	193名
26年度	13名	17名	14名	12名	12名	15名	15名	16名	17名	13名	11名	15名	170名
25年度	11名	9名	9名	11名	11名	14名	9名	13名	11名	10名	9名	12名	129名

(延べ人数)

【連携】

- 新城市内の相談支援事業所(社協・もくせいの家・やすらぎの家・レインボー)との連携を中心に、家族のレスパイト、将来グループホーム入居のための練習のための受け入れをした。
- 強度行動障害の利用者などの受け入れに際して、オレンジプラザと連携を取り合い、利用時に落ち着いて過ごしていただけるよう努めた。
- サポートホームで行う研修や会議に参加し、情報の共有や課題の検討を行った。

【虐待防止への取り組み】

権利擁護委員会主催で、虐待防止法の周知や虐待防止チェックリストの記入・集計、虐待防止に関する研修を行った。

【今後の課題】

- ・1床の定員のため、スケジュール調整が難しくなっている。
- ・知的、身体、精神の3障害の受け入れのための知識、技術の向上。
食事介助や衣服の着脱、入浴支援についての研修を継続的に行う。

平成27年度「西部福祉会館」事業報告

『西部福祉会館生活介護事業』(平成27年4月1日開所)

定員20名にて事業運営開始。新城市内の方であれば、ご自宅まで送迎することで、今迄事業所利用に制約があった方に対しても、安心して通所できる体制が築かれた。

また、新城市内には生活介護事業所がレインボーはうすのみであり、定員超過状況であったために、西部福祉会館が運営されたことで、今後の需要と供給バランスの改善が図られた。

さらに、個別に対応した創作活動と様々な教室活動を行う事で、社会参加の機会提供と健康増進にむけた支援提供ができた。

利用者の求める安心で快適な介護・支援に応じるために、バリアフリー、プライバシーに配慮した施設内環境調整、機械浴の活用など環境整備と障害特性を理解した支援に努めた。

また食事については、個別の嗜好と健康状態に柔軟に配慮した代替え食などの提供に心掛けたことで、「西部に行くのが楽しみ。」等、利用者家族から評価をいただいた。

職員体制については同性介護に応じ、さらに健康管理に力を入れた看護体制を整えた。

『地域活動支援センター事業』(平成27年4月1日新城市から委託運営開始)

定員10名で事業運営開始。運営時間は8:30から17:00。利用時間帯は個別に対応。

利用にあたっては障害支援区分認定が必要無い為、様々な方が利用され、年間21名の方が登録された。

就業・生活支援センターウィルや市内相談支援事業所と連携することで、ひきこもり状況から就労に強く意欲を示し他事業所へステップアップされた方や就職に繋がった方が見られたり、仕事帰りに「居場所」「仲間づくり」として夕方利用することで、職場定着支援の役割を果たす事が出来た。

『高齢者ふれあい相談支援センター事業』(平成27年4月1日新城市から委託事業)

福祉課と地域包括支援センターの相談窓口、各種福祉サービスの代行業務を行った。

対象利用者は新城市内西部地区(千郷中学校校区)の概ね65才以上の高齢者とその家族で、地域の民生委員やケアマネと連携し、年間771名の訪問や電話等実態把握につとめ、年間25件の介護予防プラン作成を行った。

『西部福祉会館指定管理事業』(平成27年4月1日から5年間、新城市と指定管理協定締結)

西部福祉会館で行う各種福祉事業の中立、公平さらに快適で安全な利用運営に努めるとともに、広く地域の住民にとっても、地域交流など施設利用の開放を行った。

毎週、毎月定期的に会館利用される団体から、新城市地域自立支援協議会が会議開催や夏休みの児童の居場所づくりとして利用されるなど、年間を通じ活用していただいた。

施設利用時の駐車場の制約問題については、隣接の愛知県東部家畜保健衛生所新城設楽支所の駐車場提供の協力を得ることができ、約20台分の確保ができた。

【生活介護事業】

定員 20 名 (H28.3 末時点、契約者 34 名)

職員 14 名 (H28.3 末時点:

管理者 1 名、サビ管 1 名、生活支援員 8 名 (運転手含む)、看護師 3 名、調理師 1 名)

●利用契約及び利用状況 (各月末時点)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者 (人)	23	24	25	26	25	27	27	28	28	31	33	34
月平均利 用者(人)	13.6	14.5	14.7	15.0	15.0	14.8	17.0	16.5	16.6	17.9	18.0	18.5
平均利用 率(%)	68	73	74	75	75	74	85	83	83	90	90	92

●利用者状況 (H28.3 末現在)

(年齢・性別状況について)

年齢	～19	20～	25～	30～	35～	40～	45～	50～	55～	60～	65～	計
男性	2	0	0	0	0	1	2	1	5 (※2)	3	2 (※2)	16
女性	0	1	1	2	0	2	4	3	0	2	3 (※2)	18
計	2	1	1	2	0	3	6	4	5	5	5	34

※印…介護保険併用利用者

★平均年齢 50.7 才、最年少 18 才、最年長 69 才

(支援区分について)

区分	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	2※	4	4	3	3	16
女性	1※	2	5	6	4	18
計	3※	6	9	9	7	34

※印…50 才以上のため、生活介護事業利用対象。

(障害種別について・手帳取得状況)

	身体障害			知的障害			精神障害				難病	実人数 (重複)
	1級	2級	3級	A	B	C	1級	2級	3級	手帳 無		
男性	3 (1)	3	1 (1)	4 (2)	2	0	0	3	1	1	0	16 (2)
女性	5 (5)	0	3 (2)	8 (5)	1	0	2	5 (1)	0	0	2	18 (7)
計	8 (6)	3	4 (3)	12 (7)	3	0	2	8 (1)	0	0	2	34 (9)

●支援状況 (教室活動その他活動状況)

教室活動名	指導者	活動内容
健康体操	今泉勝代氏	(第3水AM) ※愛知県健康づくりリーダー
健康音楽体操	峰野恵子氏	(隔週月PM) 音楽に合わせてリトミック体操
音楽療法	七原麻紀氏	(第3木AM) 合唱や楽器を使い合奏など音楽療法
アート活動①	白井幹郎氏	(月1回PM) 絵手紙や切り絵他アート活動
アート活動②	荻野佐和子氏	(月1回PM) 毎回、工夫された題材でアート活動
その他活動…エコバッグづくり、園芸活動、周辺歩行、買物外出、レクリエーション他		

【地域活動支援センター事業】

定員 10 名 (H28. 3 末時点、契約者 12 名)

職員 2 名 (H28. 3 末時点：管理者 1 名、指導員 1 名)

●利用契約及び利用状況 (各月末時点)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者	4	7	8	8	12	13	12	12	13	12	13	13
月平均利用者	2.0	2.0	2.2	2.1	4.3	4.7	4.5	5.2	5.1	5.3	5.3	5.5
平均%利用率	20	20	22	21	43	47	45	52	51	53	53	55

●利用者状況 (H28. 3 末現在)

(年齢・性別状況)

年齢	～19	20～	25～	30～	35～	40～	45～	50～	55～	60～	65～	計
男性	0	2	0	2	1	0	1	1	0	0	0	7
女性	0	1	3	0	2	0	0	0	0	0	0	6
計	0	3	3	2	3	0	1	1	0	0	0	13

★平均年齢 32.8 才、最年少 20 才、最年長 50 才

(利用希望時間帯及び他機関利用状況)

時間帯	利用人数	送迎希望	他機関併用状況				
			単 独	生活介護	就労移行	継続B	就 労
9:30～15:30	4	4	2	0	0	2	0
9:30～17:00	3	0	1	0	0	1	1
14:00～17:00	1	0	0	0	0	0	1
15:30～17:00	4	0	0	1	1	0	2
11:00～12:00	1	0	1	0	0	0	0
計	13	4	4	1	1	3	4

【高齢者ふれあい相談事業】 (H28. 3. 31 現在)

	基本 台帳数	介護予防 プラン	実態把握					関わった相手			
			訪問	電話	来所	延件数	実人数	本人	親族	関係機関	合計
計	272	25	408	366	23	771	175	350	124	336	810

【西部福祉会館管理運営状況】

利用団体	利用状況
西部基楽クラブ	毎週金曜日に9:00～16:00 会議室にて会員が親睦囲碁
子育て情報誌さくら「音楽部門」	毎月第2木曜日、9:00～12:00 研修室にて親子でリトミック
西部地区民生児童委員	役員会及び民児協研修会開催にて研修室利用。(随時利用)
(福)新城福祉会 ウィル	「ウィルの日」(在職者の交流活動)として土曜日に和室使用。
地域自立支援協議会 児童部会	夏休みに研修室及び和室使用。児童デイ試行事業開催及び反省会および親の座談会開催。
自立支援協議会 相談支援専門員	個別支援会議開催時に会議室利用。
居場所づくり提供	行動障害を伴う障害者の居場所としてヘルパーと会館利用。

平成 27 年度西部福祉会館職員研修実施状況

	開催日	研修内容	講師等
職員全体 研修	4/27(土)	「支援計画作成」事例理解を深める	小林管理者
	5/2(土)	「支援計画作成」(P-2)、 「高次脳機能障害」について	小林管理者、 伝達研修(岡他)
	5/9(土)	ケアマネ研修	
	7/18(土)	権利擁護研修	権利擁護委員会
	9/19(土)	「コミュニケーションのとり方」	金田文子氏
	10/17(土)	「触法の障害のある人たちへの支援 の実践」	地域定着支援センター
	11/21(土)	「精神疾患の利用者への支援、関わり方」	浅尾拓郎氏(新城市民病院 精神科部長)
	12/12(土)	市民福祉フォーラム 「障害者差別解消法」他	又村あおい氏(全日本手をつなぐ育成会)
外部研修	7/10(金)	「精神障害者支援担当者研修会」	県社協主催
	7/29(水)	「福祉車両安全運転講習会」	日本福祉車両協会主催
	9/29(木)	「肢体不自由児者の理解と支援」	障害児等療育支援事業
	12/9(水)	「社会福祉施設長セミナー」	県社協主催
	12/25(金)	「援助技術研修、動機づけ」	県精神保健福祉センター
新人職員 研修	5/7(木)	「法人理念について」※開所時スタッフ対象	夏目理事長
	10/22(木)	「法人理念について」	夏目理事長
	10/28(木)	「障害者福祉の歴史と法人経営について」	長坂常務理事
	11/26(木)	「権利擁護・虐待防止について」	小林管理者
	12/8(火)	「発達障害について」	荒川支援員

平成 27 年度防災訓練実施状況

実施日	訓練内容
6/25(木)	火災想定通報、避難、初期消火訓練
8/28(金)	大規模地震想定避難訓練 ※9/1(火)防災センター見学と地震体験
11/18(水)	火災想定通報、避難、初期消火訓練及び消火器を用いた消火訓練
2/17(水)	火災想定通報、避難、初期消火訓練
2/23(水)	心肺蘇生法と AED の使用法について「救命入門コース」講習受講

平成27年度 障害者就業・生活支援センター ウィル 事業報告

＜集計期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日＞

I 事業について

(1) 実施体制

主任就業支援担当者 1名 常勤 (社会福祉士)
 就業支援担当者 1名 常勤 (社会福祉主事)
 生活支援担当者 1名 常勤 (介護福祉士)

(2) 事業委託費 (確定額)

雇用安定等事業 (愛知労働局) : 11,732,742円
 生活支援等事業 (愛知県障害福祉課) : 4,709,000円

II 支援対象者の状況について

(1) 登録状況 (障害種別、就業状況別) (人)

	身体障害		知的障害		精神障害	その他の障害	合計
	(うち重度)	(うち軽度)	(うち重度)	(うち軽度)			
在職中	12	4	43	11	25	4	84
求職中	16	5	30	8	31	10	87
その他	3	1	0	0	2	0	5
合計	31	10	73	19	58	14	176

※その他の障害内訳

	発達障害	難病	高次脳機能障害	その他	合計
在職中	3	0	0	1	4
求職中	4	0	0	6	10
その他	0	0	0	0	0
合計	7	0	0	7	14

(2) 平成27年度中に新規に登録した障害者の数 33 人

(3) 上記(2)の新規登録者の利用経路 (人)

①ハローワーク	7
②地域障害者職業センター	0
③特別支援学校	2
④就労移行支援事業所	7
⑤上記④以外の福祉サービス事業所	4
⑥福祉事務所、市町村役場等行政機関	4
⑦直接利用 (家族を含む)	1
⑧上記以外	8
合計	33

III 支援の実施状況について

(1) 支援対象者に対する相談・支援

①相談・支援件数(手段別) (件)

センターへの来所 (本人のほか、家族等も含む)	155
電話・Fax・e-mail (本人、家族等からの電話、センターからの電話含)	789
職場訪問 (定着支援のほか、職場実習支援を含)	473
家庭・入所施設への訪問	71
その他 (ハローワーク同行訪問、各種手続き支援、ケース会議参加等)	377
合計	1,865

②相談・支援件数(内容別)

(件)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
就職に向けた相談・支援	35	224	315	228	802
職場定着に向けた相談・支援	21	442	128	62	653
日常生活、社会生活に関する相談・支援	4	145	89	25	263
就業と生活の両方にわたる相談・支援	8	98	32	9	147
合計	68	909	564	324	1,865

※その他内訳

	発達障害	難病	次脳機能障	その他	合計
就職に向けた相談・支援	117	0	2	109	228
職場定着に向けた相談・支援	47	0	1	14	62
日常生活、社会生活に関する相談・支援	8	0	2	15	25
就業と生活の両方にわたる相談・支援	3	0	0	6	9
合計	175	0	5	144	324

③職場実習のあっせん状況

(件)

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
職場実習(3日以上3ヵ月以内)	1	12	9	3	25
障害者委託訓練	0	0	0	0	0
合計	1	12	9	3	25

④一般事業所への就職件数 (※1ヵ月以上の雇用)

(件)

	身体障害		知的障害		精神障害	その他	合計
	(うち重度)	(うち軽度)	(うち重度)	(うち軽度)			
一般(30時間以上)	1	1	9	0	6	2	18
短時間(20~30時間)	0	0	1	0	4	1	6
短時間(20時間未満)	0	0	1	0	0	0	1
合計	1	1	11	0	10	3	25

⑤職場訪問による職場定着支援の実施件数

294件

⑥定期的な在職者交流会の開催

	開催月	勉強会	余暇活動	参加人数
第1回	5月	職場の良いこと嫌なこと	バーベキュー	18名
第2回	8月	夏場の体調管理	工場見学	21名
第3回	11月	男子会・女子会	レストランで食事	5名・7名
第4回	1月	新年の目標・抱負	書き初め・初詣	18名

(2) 事業主に対する支援

①相談・支援を行った事業所数

53事業所

②相談・支援件数(手段別)

(件)

センターへの来所	6
電話 (FAX、e-mail等を含む)	203
企業訪問 (職場開拓、職場定着支援、雇用啓発等を含む)	308
その他 (ケース会議等を通じた支援)	11
合計	528

③内容別の相談・支援の割合

雇入れに関する相談・支援	3.3割
雇用する障害者の職場適応・職場定着に関する相談・支援 (社内の対人関係・コミュニケーション、作業効率、作業態度等)	6.3割
雇用する障害者の生活面に関する相談・支援	0.3割
障害者の雇用支援制度に関する相談・支援	0.1割
その他	0.0割
合計	10.0割